石垣島で採集されたシタベニコノハ(新称)

杉　繁郎
東京都大田区大森北4丁目 14-12

Thyas honesta HÜBNER in the Ryukyus (Lepidoptera, Noctuidae, Catocalinae)

SHIGERO SUGI

東京農業大学昆虫研究室の岸田泰則氏の御好意によって，最近琉球の石垣島で採集された日本未記録の大型のCatocalinae の一種を調べることができたので報告する．貴重な標本を恵与された同氏に深く感謝の意を表する．

Genus **Thyas** HÜBNER, [1824]

Thyas HÜBNER, [1824], Samml. exot. Schmett. **2**, pl. [203]. Type-species by monotypy: *Thyas honesta* HÜBNER, [1824]. For publishing date *cf.* HEMMING, 1937, HÜBNER **2**: 264.

Thyas honesta HÜBNER シタベニコノハ(新称)

Thyas honesta HÜBNER, [1824], Samml. exot. Schmett. **2**, index: 4, pl. [203], figs. 1, 2.

開張 85 mm. 頭部，胸背及び前翅基部は濃黄褐色を呈する．前翅表面の外半部は暗褐色を呈し，黒色鱗片を散布する．内横線は不明瞭，環状紋はみとめられない．腎状紋は淡色，中室内に深く貫く暗褐色条で二分され，2個の円形紋となり，中心部は暗色，外横線も不明瞭．亜外縁線は翅頂よりもやや内方から発して斜走する幅広い淡色条となり，第2脈付近で外方に曲り，さらに内彎する．後翅表面は橙黄色で，ムクゲコノハを思わす朱色の鱗片及び毛を密生する．外縁部には大きい黒色斑をあらわす．腹部背面は後翅地色と同色である．前翅裏面は橙黄色で，中央部は朱色をおび，外方約 1/3 は暗赤色を呈する．後翅裏面は橙黄色，内縁付近は朱色をおび，外方約 1/3 は暗色を呈する．
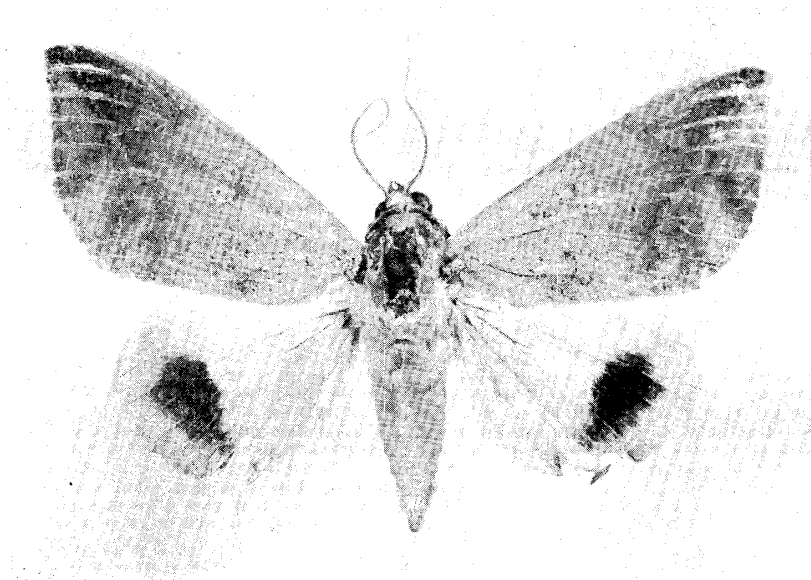
Fig. 1. *Thyas honesta* HUBNER ♂. Ishigaki Is., 27. vi. 1970.

所検標本：1♂，石垣島，27. vi. 1970，酒井　香（杉　繁郎保管）.

本種の分布は，HAMPSON (1913, Cat. Lep. Phal. B.M. **12**: 414-415, text-fig. 96, ♂) によるとインド，セイロン，アッサム，ビルマ，アンダマン諸島，シンガポール，クリスマス島，フィリピンとなっており，スンバワ島にも産する (PAGENSTECHER, 1895, Jahrb. Nassau. Ver. Naturk. **49**: 163). 同属の近縁種 *T. regia* LUCAS はニューギニア，オーストラリアに，*T. miniacea* FELDER はソロモン群島，フィジーに分布しており，この3種をもって属 *Thyas* を形成している.

日本にも産するツキワクチバとその近縁種は，HAMPSON (l. c.) によって，あやまって適用された属名 *Lagoptera* の下に，上掲の3種と同属とされた．しかしこれら両群の蛾はそれほど近縁なものではなく，前者には属名 *Artena* WALKER, 1858 (Type-species: *Artena submira* WALKER, 1858) が用いられるべきである．従って日本のツキワクチバに対しては，今後 *Artena dotata* (FABRICIUS), **comb. nov.** を使用することにしたい.

Summary

One male specimen of *Thyas honesta* HÜBNER, captured in 1970 on Ishigaki Island of the Ryukyus, was examined. This is the first record of this large catocaline within the faunal limits of Japan and possibly an immigrant.

スギタニルリシジミ野生第二化の発見

森　井　久　夫
奈良県橿原市小槻町 263-25

筆者は，1971年8月10日12時30分頃，長野県南安曇郡安曇村島々谷南沢，鯎留小屋東 200m 下流の渓流上で飛翔中の *Celastrina sugitanii* MATSUMURA スギタニルリシジミの新鮮な1♂を採集した．時期的に野生の第2化と考えるのが妥当と思いここに報告する．確認者は，長野県松本市入山辺扉鉱泉ゆもと群鷹館，早川広文氏である．なお早川氏は，1968年5月に長野県松本市入山辺御タカ山宮林でスギタニルリシジミの幼虫を採集，飼育したところ，同年7月3日及び7月5日に1♂1♀が羽化したことから，自然状態における第2化の可能性もじゅうぶんあるという考えをおもちであった．ここにあわせて報告しておきたい.

1♂，長野県島々谷，10. viii. 1971，森井久夫採集.
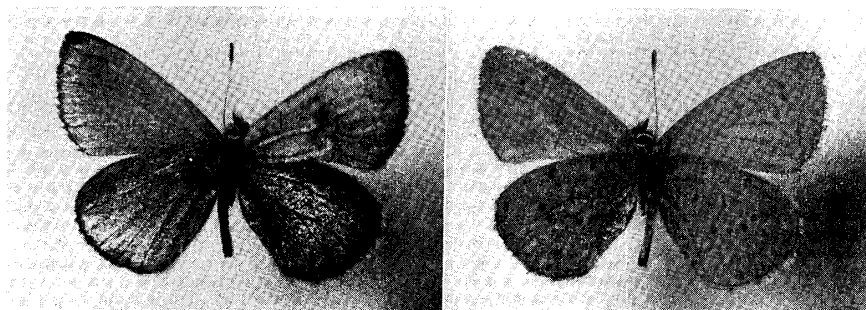
Fig. 1. 第2化と思われる *Celastrina sugitanii* MATSUMURA スギタニルリシジミ♂.
（島々谷南沢で 1971年8月10日採集）